

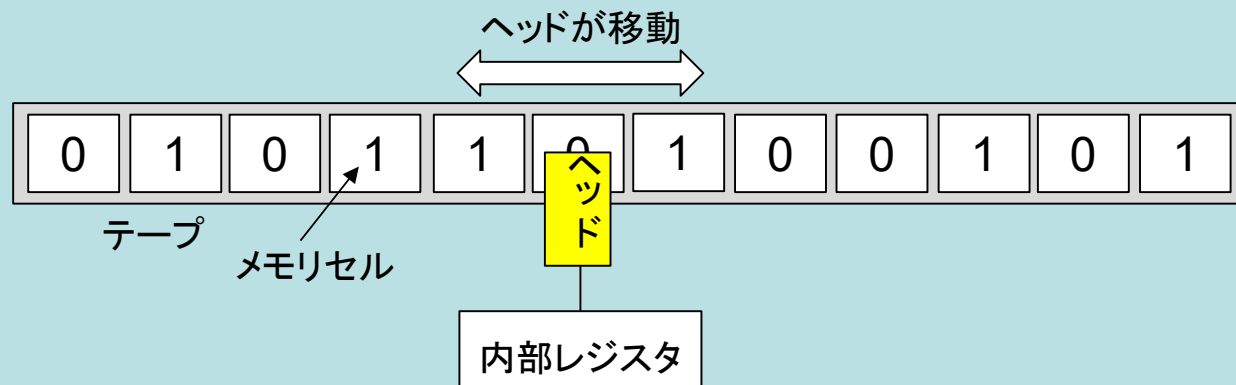
# チューリング・マシン(1936年)



A. M. Turing,  
1912-1954

1936年、チューリングは論文「計算可能数についての決定問題への応用」で、計算を数学的のモデル化するための仮想計算機としてチューリング・マシンを提唱した。

チューリング・マシンはデータを記憶するメモリセルが連続したテープと、そのデータを読み込み内部の状態を変えるヘッド(オートマン)からなる。また、その内部状態を保持する内部レジスタを持つ。



チューリング・マシンの原理図